

2024年1月11日発行

神戸大学 インクルーシブキャンパス&ヘルスケアセンター ジェンダー平等推進部門 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1 Tel: 078-803-5471

ワークライフバランス支援

◎出生時育児休業（産後パパ育休制度）の紹介

概要

子供が産まれた直後の時期に柔軟に育児休業が取得できるよう、「出生時育児休業（通称：産後パパ育休）」制度が創設されました（令和4年10月1日施行）。子の出生後8週間以内に4週間まで、2回に分割して取得できます。

手続きはどうするの？

育児休業の開始日の「2週間前」までに、育児休業申出書を所属部局の人事担当係に提出してください。分割して2回取得が可能ですが、まとめて申し出ください。

休業中の収入はどうなっているの？

雇用保険からの支給や共済掛金・保険料の免除がありますよ。

- 受給資格を満たしていれば雇用保険から休業開始時の賃金の67%（180日経過後は50%）の育児休業給付金を受けとることができます。
- 育児休業を取得している共済組合員は、育児休業開始月から、その育児休業が終了する日の翌日の属する月の前月までの掛金・保険料が免除されます。
- 賞与に係る掛金・保険料については、賞与支払月の末日を含む1か月（※1）を超える育児休業を取得した場合に限り免除されます。

※1）共済組合に係る掛金については、育休開始日が誕生日より前の場合、誕生日が日数計算の起算日となります。例：育休開始日10/4、育休終了日10/20、誕生日10/7の場合⇒日数は14日

詳細は個別周知・意向確認書
をご確認ください

※学内限定で公開しているため、
VPN接続が必要です。



◆令和4年度(2022年度)

神戸大学 男性労働者の育児休業等取得割合 20.3%

◎一時預かり保育室(はとぼっぼ六甲)の紹介

瀧川記念学術交流会館一階に一時預かり保育室を設置しています。本学の教職員であればどなたでもご利用いただけます。

令和5年度は株式会社ファミリエクラブに業務委託し、中学校入学前までのお子さんの保育サービスを実施しています。

詳細はこちらをご覧ください。

※学内限定で公開しているため、VPN接続が必要です。



保育室だよ～



◎オンライン介護個別相談

介護に関する相談は相談者によって介護状況が異なるため、オンラインで個別に相談できる形式で実施しています。今年度は9月12日～22日の間に開催しました(相談時間はお一人50分以内)。

相談に対応してくださるのは、NPO法人ホームホスピス神戸なごみの家 理事長の松本 京子先生で、毎年相談された方から好評をいただいております。オンライン介護個別相談の開催はガルーンでお知らせしています。介護についてお悩みのことがあれば、お一人で悩まず、専門家に相談してみてもいいのではないでしょうか？

ー利用者の感想ー

介護の状況は、年々変わるため、このような機会が継続的にあると安心して仕事を続けられます。

具体的に誰に相談すべきか明確になりました。現状で自分がやっておくべきことを聞いたことや、実際の例を紹介してもらい分かりやすかったです。

親が要介護と認定されたので今の状態や今後について相談できて本当に良かったです。未だにこの相談会を知らない方や職場での相談をためらっている方が多いと思います。他者を気にすることなく相談できるので、この相談会がもっと広まれば、介護で苦労されている方の心が救われると感じました。

カタリバ開催報告(速報)

ジェンダー平等推進部門 初の試みとしてカタリバ（ランチタイムミーティング）を、12月8日（金）15日（金）に開催しました(両日とも12：15～13：15)。

カタリバは、ワークライフバランスに特化したテーマについて、参加者がざっくばらんに語り合うことを通じて、お互いの交流や情報交換ができ、ワークライフバランスがより充実することをめざしています。不定期ですが今後も開催しますので、ご参加をお待ちしております。



ロールモデル交流会 & 研究報告会案内

日時：令和6年1月16日(火)13:00～17:00

場所：瀧川記念学術交流会館 2 階大会議室

申込締切：令和6年 1月9日(火)

◆13:00-14:30 女性研究者国際共同研究 成果報告会

◆14:45-17:00 ロールモデル交流会 (時間内に懇親会も予定しています)

お申し込みをお待ちしております。

研究報告会



ロールモデル交流会



◀ ジェンダー平等推進部門 副部門長の就任

ジェンダー平等推進部門 副部門長に

システム情報学研究科 教授 桔梗 宏孝先生に就任いただきました(2023年11月1日付)。

桔梗先生にはシステム情報学研究科の協力教員も兼任していただきます。

◀ ジェンダー平等推進部門 協力教員の交代

法学研究科 木下昌彦先生から飯田文雄先生に交代となりました(2023年10月1日付)。

UNESCO 2023 年度 神戸大学ユネスコチェア 教育プログラム開催報告



神戸大学ユネスコチェア事業の柱のひとつに、学部生や大学院生を対象に年に一度開催される「教育プログラム」があります。本年度は12月2日～3日にオンラインで開催され、神戸大学から13名(うちファシリテーター2名)、インドネシア8名、マレーシア3名、タイ6名、台湾10名、パキスタン8名の学生が参加しました。今年度のテーマ「災害について話そう～みんなでつくる安全・安心」のもと、前半は各国の現状についてのプレゼンテーションや教員によるパネルディスカッションをし、後半は、複数大学で構成されたグループが気候変動のメカニズムや対策という課題に対して自らの回答を報告しました。

オンラインで初対面の相手と英語で議論することの難しさを味わう経験と共に、各国の類似点や違いについて学ぶことができたようです。アンケートには「参加したことによって、大学生として私たちが住むコミュニティをより安全にすることがたくさんあることに気づいた。SNSなどを使って災害についての情報提供ができ、私たちの想像力や若い視点を使って、防災が推進できる」(ガジャマダ大学)、「オンラインで行うことができたため、多くの国の学生と意見交換ができて大変効率的だと思った。また、グループでも多くの違う大学の人がいたため、意見の違いがあって面白かった」(神戸大学)などのコメントが多数ありました。来年度はインドネシアのガジャマダ大学で対面開催する予定です。

興味がありそうな学生がいたら、ぜひご紹介ください。



ユネスコチェア研究プログラム セミナー開催報告

神戸大学ユネスコチェア国際共同研究プログラム、連携校で開催される研究セミナー「Kobe University UNESCO Chair – UTAR Workshop on Social Impact of Post Covid-19」が今年度トウンクアブドゥルラーマン(UTAR)大学(マレーシア)の減災研究センター主催で11月6日～7日に開かれました。神戸大学からはICHCセンタージェンダー平等推進部門の野田和恵部門長とアレキサンダーコーディネーター、各連携大学からは2名ずつが参加し、今年は初めてオブザーバーとしてパキスタンのシファ・タミールエミラット大学から1名の参加がありました。

初日は、「ポストコロナ対策」というテーマについて、各大学から報告がありました。コロナ禍における女性船員の現状(台湾)、気候変動による災害におけるジェンダー主流化対策(タイ)、コロナ禍の建設業(マレーシア)、コロナ禍におけるITリテラシー(インドネシア)、学生にとってのオンライン学習の課題(日本)など、脆弱性、ウェルビーイングというキーワードにコロナからポストコロナへの移行期の課題についての研究報告や研究計画について、活発な議論が展開されました。

2日目は2019年の洪水の時に校舎が浸水し、大きな被害を受けた高等学校を訪問しました。UTARのタン先生方がコロナの感染対策の授業を行い、生徒たちの主体的な参加が印象的でした。最後に教育委員会の担当者や校長先生と懇談し、防災意識を育成することがいかに難しいかという現場の話を聞くことができました。教員や生徒から災害の体験について聞くことによって、新たな知識や視点を得ることができ、非常に貴重な体験となりました。

←UTAR News Report: <https://news.utar.edu.my/news/2023/Nov/16/01/01.html>

https://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/project/unesco/seminar_list/ →



書籍の発行



神戸大学ユネスコチェア国際共同研究プログラムの研究成果として、2023年11月に神戸大学スリンガーモノグラフシリーズ、Making Disaster Safer: A gender and vulnerability approach (R. Alexander & S. Wajjwalku, eds., Springer)という本が出版されました。本書は、台湾、タイ、インドネシア、マレーシア、日本からのケーススタディで3部構成となっています。内容としては、第一部はジェンダー、とりわけ女性と災害、第2部は地域や自治体の取り組み、第3部はその他の取り組みを中心に、脆弱性やジェンダーの視点を取り入れながら、様々な研究分野からアプローチしています。

詳細については、ICHCセンタージェンダー平等推進部門に連絡いただくか、<https://link.springer.com/book/10.1007/978-981-99-4546-7>をご参照ください。



第18回女子中高生のための関西科学塾を開催しました

11月19日(日)に女子中高生のための関西科学塾を神戸大学で実施しました。高校生43人は人間発達環境学研究科、分子フォトサイエンス研究センター、農学研究科に分かれて実験講座に参加しました。

同伴者15人は、鶴甲第2キャンパス、六甲台第2キャンパスに分かれて教員との懇談会や、実験講座の見学などをしました。



テーマ名	講師	所属
大気圧プラズマって何？	谷 篤史先生	人間発達環境学研究科
水をくんでどんな魚が生息しているかを知る～環境DNA実験	源 利文先生	人間発達環境学研究科
身の回りの小さな世界～微生物を見よう～	松尾 栄子先生	農学研究科
温室効果ガスってなーに？	笠原 俊二先生	分子フォトサイエンス研究センター
自発的なパターン形成	小谷野 由紀先生	人間発達環境学研究科

アンケートより

◆参加者

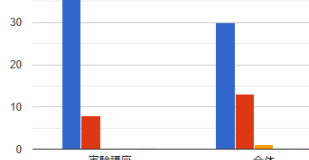
- ・大学の校舎の雰囲気や、先生の話がとても分かりやすくて、楽しかったです。
- ・日頃勉強していることがこんな風に研究に生かせるんだなと知り、大学に行くのが楽しみになりました。

◆同伴者

- ・大学の学部選びに迷っているの、先生のお話が、とても参考になりました。

今回の取り組みについて

■ 大変良かった ■ 良かった ■ 普通
■ あまり良くなかった ■ 良くなかった



お・知・ら・せ

◀ 多様な性・ジェンダーに関する相談窓口のご案内

ジェンダー平等推進部門では、神戸大学構成員の皆様の多様な性・ジェンダーに関する相談に対応しています。ご相談は、こちらのQRコードから。



◀ 多様な性・ジェンダーに関する研修動画のご案内

神戸大学 ICHC センター 多様な性・ジェンダーに関する構成員向け研修作業部会が、「多様な性・ジェンダーに関する研修 知識と理解編～多様な構成員が活躍できる環境づくりをめざして～」を制作いたしました。

学内限定で公開しています。ぜひご活用ください。



◀ ダイバーシティ教育プログラム動画のご案内

ジェンダー平等推進部門では、男女共同参画の推進に向けて教育プログラム(e ラーニング)を作成しました。学内限定で公開しています。ぜひご活用ください。



【前号訂正】

55号1面の記事において

「3.事務体制が人事労務グループから学務課へ移行し、学生も視野に入れて活動しやすくなったこと。」の記載については「3.事務体制が引き続き人事労務グループの支援を受けながら、学務課へ移行したことに伴い、学生も視野に入れて活動しやすくなったこと。」に訂正いたします。



ジェンダー平等推進部門へのご意見・ご要望は、ホームページのお問い合わせからご意見箱を使ってお送りください。みなさまからのご意見・ご要望お待ちしております。

ジェンダー平等推進部門HP <http://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/>